

三春町教育委員会  
事務点検・評価報告書  
(令和6年度対象)

令和8年3月

三春町教育委員会

目 次

事務点検及び評価書

1 ~ 10

# 事務点検及び評価書

令和6年度重点施策の事業を推進するにあたり、少子化、ICT機器の活用、教師の働き方改革など変化していく多くのことを考慮しながら、変わりゆく社会のなかで、下記に教育課と生涯学習課の評価を報告致します。

以下は、個別の事項に対する評価及び意見です。

## 教育課 学校教育グループ

### 令和6年度重点施策の実施評価

#### 1 少子化に伴う教育環境の充実

- (1)日本の人口減少は深刻化しています。三春町においても、人口の減少は切実な問題です。少子化に伴い、「小学校教育のあり方に関する基本方針案」を作成し、保護者や地域住民に説明会を実施し、質疑応答に答えたことについて、一方的な行政主導にならず町民の意見を取り入れた基本方針になったことを大いに評価します。
- (2)基本方針案に対する意見について広く聴取するため、ホームページや町の公式LINEを活用したことは、幅広い世代の意見を聴取するにあたって合理的な方法だと考え大いに評価します。

#### 2 確かな学力・生きる力の育成・環境の構築

- (1)授業の改革推進を目標に、学びづくりサポーターを派遣したことで、生徒の個性や持ち味を生かした深い学びを追求できたことを大いに評価します。
- (2)「ふくしま学力調査」・「全国学力調査」・「町総合学力調査」の3つのテスト結果を分析し、各校の管理者研修会において課題を明確にして、テスト後の指導に焦点化して取り組んだことを評価します。
- (3)いじめの未然防止や早期発見・早期対応を目指し、学級懇談会において研修機会を設け、「いじめ問題連絡協議会」において多機関・多職種との連携において、いじめの根絶を図ったことを大いに評価します。
- (4)ICT機器を活用して学びの促進を図ったこと、三春町学校教育研究会を軸に、教職員の研修の充実のため情報提供・発信を行ったことを大いに評価します。
- (5)三春町出身である政治家・河野広中没後100年を機に始まったこども議会は、町の偉人を学習する機会と共に自治的活動推進リーダーを育てるきっかけになることを願い大いに期待します。

#### 3 安全安心な教育環境の構築

##### (1)計画的な工事の実施

第3期中期財政計画および公共施設修繕計画などの年次計画に基づき、業務委託を活用しながら施設の経年劣化による補強や環境改善のための工事を行ったことを評価します。

## I 教育委員会費

### 1 教育委員会

数多くの会議で、教育委員会に提出された案件に対応したことを評価します。

### 2 「三春町立小学校教育のあり方」に関する取り組み

各地区学校運営協議会代表者の会議を開催して、各地区に説明したことは、これからの学校のありかたの理解を深めることとして大いに評価します。

## II 事務局費

### 1 教育相談体制の充実

スクールソーシャルワーカーを活用し、教師や保護者とともに「チーム学校」を機能させ、きめ細かな指導を推進させたことを大いに評価します。

### 2 教育行政に関する広報について

評価します。

### 3 生徒指導体制の充実

学校法務相談員としてスクールロイヤーを活用し、指導体制の充実や法的側面からの助言、管理職の研修会を行うことで、正しい法の理解のもと適切な指導が各学校で実践できるよう働きかけたことを評価します。

## III 教育指導費

### 1 教育相談体制の充実

東日本大震災による被災地域の児童生徒を受け入れている学校に対して、児童生徒のケアや教職員や保護者への助言・援助などのため、国からの交付金を活用し、スクールカウンセラーを三春中学校区と岩江中学校区に設置したことを大いに評価します。また、特別な支援を要する児童生徒や様々な課題を抱える児童生徒のためにスクールカウンセラーを活用し、教師や保護者とともに「チーム学校」を機能させ、課題解決のための組織的な対応ときめ細かな指導を推進したことを大いに評価します

### 2 各種研修

#### (1) 学校教育アドバイザー派遣事業

授業改革を推進して5年目を迎え、教師は「教える」から「学びを作る」へ、児童生徒は「教わる」から「学ぶ」へ転換、児童生徒が自ら進んで学び合い、考えを深め身につけるべき資質能力を獲得できるように、派遣事業を進めたことを評価します。

#### (2) 授業作りセミナー事業

町内の小中学校の教職員を対象に、授業作りセミナーを実施したことは、三春の教育が目指す深い学びの研修会に繋がっていると大いに評価します。

### (3) 幼児教育アドバイザー派遣事業

幼児教育講師を招いて研修会を重ねたことは、大切な幼児教育を実践している先生たちのスキルアップに繋がったと今後に期待します。

### 3 三春町こども議会

町内8つの小・中学校の児童生徒が、町政に関する質問を行ったことで、自分の住んでいる地域を考えるきっかけになったことは大いに評価します。今後も継続できることを期待します。

### 4 教材資料作成

「わたしたちの町・三春」の教材資料は、住んでいる故郷がよくわかる学習資料となっており、故郷を学ぶきっかけになると大いに評価します。

### 5 コミュニティスクール推進事業

地域住民と学校が連携して子どもを見守り、話し合いをして、活発に活動していることを大いに評価します。学校運営協議委員が運動会や発表会などに積極的に出席して、子ども達を見守っていることが見受けられ、地域と学校の連携がとれていると感じます。

### 6 適応指導教室・学びの支援センター「あこがれ教室」

不登校児童生徒に寄り添った居場所が作られていることは、大いに評価します。不登校児童が増加していることで、いろいろな対策を考えているなか、学校に登校できなくても自分の居場所があることで、心が安まるのではと思います。フリースクールへ通っている生徒が明るくて、のびのびしていたことを思い出しました。不登校の児童も学ぶ場所があるのに気づいたとき、少しずつ歩み始めることを期待します。

## IV 小中学校管理費

### 1 教育環境整備

#### (1) 学校施設保守管理の状況

各小中学校の管理の状況は、生徒の教育環境の必要に応じて、適宜補修・修繕、整備をしたことを評価します。

#### (2) 学校施設保守管理の状況

児童・生徒への教育効果と障害のある人の社会参加の促進をはかるために障害福祉サービス事業所に小学校体育館アリーナの清掃を依頼したことが、教育効果を目的にした児童・生徒に社会福祉などの教育に役立つことを期待します。

### 2 児童生徒の健康管理

#### (1) 健康診断

学校保健安全法に基づいた健康診断を実施したことを、評価します。アレルギー症状の子どもが増加傾向にあるため、アレルギー検査などあればと思います。

## (2) フッ化物洗口事業

全国的に虫歯の児童が減少しているのと同じように、三春町の児童生徒も保護者の同意を得て、フッ化物洗口を実施することで虫歯の減少につながったことを評価します。学校や家庭における虫歯予防対策が効果が出ていることを大いに評価します。

## 4 教職員の健康管理

教職員の健康管理ということで、安心して学校生活ができる見守りに期待します。なかでも教職員に対し、メンタルヘルス事業としてストレスチェックを行ったことを大いに評価します。社会的に大きく報じられている、教職員の仕事のハードさを心配しています。精神的に追い詰められないことを願っています。

## V 小中学校教育振興費

### 1 GIGA スクール構想

ICT 機器の活用の中で、電子黒板、児童生徒一人一台タブレット端末配布、デジタル教科書等学びの環境が整いつつある中で、ICT 支援員を活用することで、ICT を活用した授業の質向上や教育用コンテンツを利用した授業の支援体制を構築し、学習効果の高い授業を実現していることを大いに評価します。

### 2 特色のある学校づくり支援事業

町内8つの小・中学校が、それぞれ考えて様々なことに取り組んだことを評価します。令和8年度は、統合のため閉校してしまう学校もあるので、ぜひ心に残る様々な構想で特色ある学校づくりを進めていくことを期待します。

### 3 就学援助

物価高の波が押し寄せている現在、児童生徒を育てている家庭の経済状況も厳しい状況と思います。要保護・準要保護の家庭は、ことさらと考えられます。できる限りの支援していただきたいと思います。

## VI 小中学校特別支援学級費

### 1 特別支援教育の取組

#### (1) 研修・指導

介助員、特別支援学級、通級指導教室担当者会、特別支援学級会担当者会を公開講座化し、町全体での特別支援教育の研修・指導を図ったことを評価します。指導主事が現場の保育士・教諭等とともに、指導や学級経営等の悩み課題を共有し、訪問相談会を実施したことは、児童生徒にとって理解してくれる先生達が近くにいると、安心することができる効果があることだと評価します。

#### (2) 連携・協力による一人たりとも取り残さないつながる指導・支援

教育課、子育て支援課、保健福祉課の連携・協力体制を確立したことで、安心

して学べる環境を作ったことは大いに評価します。また、5歳児発達相談会を実施したことは、教育的ニーズ等に応じた早期対応であったと評価します。

## 2 生徒指導体制の充実

### (1) いじめの未然防止・早期発見・早期対応

いじめは、周りからはなかなかみえにくいものです。研修会で多くの情報を得て、指導にあたっていただきたいものです。また「いじめ問題連絡協議会」において、情報を共有しながら児童生徒が深く傷つくことなく、学校生活を送れるよう見守っていただきたいものです。

## Ⅶ 学校給食費

### 1 重点支援地方交付金学校給食費支援事業

重点支援地方交付金を物価高騰で給食費価格転化抑制のために活用して、学校給食費の価格転嫁を抑制したことを大いに評価します。

### 2 多子世帯学校給食費助成

子育て支援を推進するため、第2子以降の給食費を助成したことを評価します。

## Ⅷ 放射性物質体制特別会計

### 1 放射性物質測定費

給食における放射性物質対策として、バクレルセンターで検査し、安全な給食を提供している。また、結果を町ホームページや学校便りで保護者に報告したことについて大いに評価します。

### 2 町民健康管理費

甲状腺検査事業は、東日本大震災後から開始され、継続していることを評価します。これからも継続して、相談して進めていくことを期待します。

## 生涯学習課

### 生涯学習グループ

#### 1 委員会等に関する事業

社会教育委員会議、生涯学習を進める町民会議、青少年問題協議会、さくら湖自然観察ステーション企画運営委員会は、生涯学習活動を進めていく上で必要な委員会として評価します。所属する委員の協力を大いに評価します。

#### 2 学びへの参加のきっかけづくりの推進

##### (1) 町民のニーズを生かした講座の開催

町民教養講座、町民講座、体験講座など7つの講座は、学びのきっかけづくりになったこと大いに評価します。特に「70周年記念講演会」に多くの町民の参加し、宇宙飛行士の若田光一氏のお話が聞くことができ、素晴らしい講座になったと考え

ます。高校生達からの質問を聞いていて、三春町の将来が楽しみだと思いました。

また、体験講座の「ツリークライミング」は、参加者の制限があり少し残念でした。今後も継続して欲しいと思います。

## (2) 高齢者学級事業

高齢化社会が進む中で、集団学習を通して地域のネットワークづくりや生き方を学びあう明德大学は、参加者の生きがいの一つになっていると思います。授業のある日の教室の前を通ると、笑顔でクラスメートと話している声が聞こえます。仲間ができて、一緒に学ぶ高齢者の居場所として、大いに評価します。

## (3) まほらミュージックプロジェクトの開催

町内小中学生や高校生、一般団体などを対象に6つの事業を開催し、音楽振興に結びつけたことを評価します。特に「心に花を咲かせよう合唱団コンサート」は、東日本大震災復興目的であることを大いに評価します。また若手演奏家や町外の芸術サークルなどと交流することで、感性の向上や心の成長を図れたこと、若手演奏家の育成そして郷土愛の醸成が図れたことを大いに評価します。

## (4) 生涯学習団体の活動支援

団体の活動支援として、生涯学習課の事業を実施する際のボランティアで支援する団体と、国際交流協会を運営する団体の2つに支援していることを評価します。また、46団体の生涯学習活動団体の学習の場の支援として、使用料減免、発表の場場の支援を大いに評価します。文化芸術事業の推進「まほら」で学習する生涯学習団体が「まほら」で学習成果を発表する文化祭は、活動している町民の目的であり、励みになっています。今後も時代に合わせた発表の場を設けることに期待します。

## (5) 青少年健全育成事業

「二十歳を祝うつどい」を職員、地域の人たち、ボランティアなど様々な人たちが協力して、華やかに開催したことを大いに評価します。保護者に対しても、ホワイエのモニターで式典を観覧できる席を設けて、成人した子どもの姿を見ることができたことを評価します。

## (6) 生涯学習情報提供

ITや広報等を利用した情報提供は、わかりやすいと思います。また、まほら入口の壁に設置してあるモニターの画面には、町のお祭りや花などを写し、目を引くものがあり、思わず立ち止まり見てしまいます。これから観光客を迎える春になり役立つことと思います。大いに評価します。

# 3 多様な主体との連携・協働の推進

## (1) 三春町国際交流協会との連携による国際交流事業の姉妹都事業の充実

2年ぶりにライスレイク市への派遣を実施し、国際理解の向上を図れたことを大

いに評価します。ライスレイク市民が、三春町を訪問するのが楽しみです。国内での研修機会として、東京アメリカンクラブで研修したことを評価します。また、国際交流館「ライスレイクの家」は、季節ごとに部屋のレイアウトを変えてアメリカの雰囲気浸ることができる空間を創出していることを評価します。

#### (2) 三春ダムや三春まちづくり公社等と連携し、自然や環境に関する学習及び研修の機会を提供

各種学習会・観察会を開催したことは、住んでいても気づかない町の自然の豊かさを知るきっかけになったと思います。自然観察ステーションを学習の場所として開催したことも、様々な気づきがあり評価します。三春ダムと連携したさくら湖自然教室は、昆虫、水生生物、水上探検があって親子の楽しいひとときになりました。子どもにカブトムシの取り方を教えている父親の姿に、昔のわんぱく坊主を思い出しました。大いに評価します。

#### (3) 三春交流館運営協会と連携した芸術事業の推進

運営協会で開催した、4つの交流事業を評価します。特にインドに魅せられての音楽と舞踊は評判が良かったと思います。今後も特色ある講演を期待します。

### 4 多様な人材の幅広い活動の推進

生涯学習活動のニーズに対応できるよう、講師になることができる人材を生涯学習課で登録したが、人材ガイドを利用する人がいなかった。多様な人材が、隠された宝物になっていることを残念に思います。「三春町生涯学習人材ガイド」を、町民周知する方法を考え、多様な人材が幅広い活動ができることを期待します。

### 5 生涯学習施設の適正な維持管理と運営

建物の劣化で、修繕・保守点検を実施したことを評価します。特に「まほら」は、公民館と文化センターの両方の機能がある施設のため、たくさんの町民が交流する場所ということで、危険が無く利用できることになったことを大いに評価します。地区交流館は、管理している館長や地区住民の維持管理協力があるおかげで、居心地よく利用できていることを大いに評価します

## 社会体育グループ

### 令和6年度重点施策の実施評価

#### 1 豊かな心と文化を育むまちづくり（スポーツの振興）

##### (1) スポーツ活動の企画及び機会の確保に関する取組み

全国から参加するランナーを迎えて開催したさくら湖マラソン大会、うつくしま・水ウオーク三春大会の開催は、スポーツ推進委員、社会体育団体、地域のボランティアの支援の力と協力で開催されたことを評価します。また、町民参加型の大会・

町民トレッキング教室、体力・健康づくりにつながる各種スポーツ大会の開催など数多くの社会体育を実施したことを大いに評価します。第18回市町村対抗軟式野球大会、第11回市町村対抗ソフトボール大会、第36回福島駅伝大会とすばらしい成績を収めたことを大いに評価します。

## 2 体育施設利用環境整備に関する取組み

町営野球場内野スタンドのベンチの改修、町営グラウンド及び町営野球場の不陸整正工事をしたことを評価します。また、社会体育施設の予約システム稼働と使用料徴収に伴う電子マネーの利用促進を図ったことを大いに評価します。

## 3 中学校運動部活動の地域移行に関する取組み

学校の働き方改革を踏まえた部活動改革に伴って、地域の外部指導者に対して、養成講座の講習会が行われたことを評価します。また、人材バンクに数多くの方が登録していることを評価します。初めての試みなので、外部指導者に対しての養成講座は、必ず必要なことと考えます。これからも養成講座開催を願います。

## 歴史民俗資料館

### 令和6年度重点施策の実施評価

#### 1 文化財保護の推進と支援

##### (1) 国指定天然記念物・三春滝ザクラを保護・保存する

滝ザクラ周囲の草刈りや施肥等管理を行う滝桜保存会を支援し、病虫害の発生や雪害に対する巡視を専門業者に委託し年間を通して管理したことを評価します。また、5年ごとに行っている天然記念物再生事業完了したことを大いに評価します。

##### (2) 指定文化財等を保存・管理する

「三春町文化財保存活用地域計画」を策定するために、資料調査やアンケート、各地区の説明会やワークショップ、そして文化財フォーラムを開催したことを評価します。また、三春城跡を国の史跡指定にするため、調査指導委員会を設置し、文化庁と協議しながら調査方針と次年度調査の計画を立てたこと、開発事業に先立ち、下舞木と山田の遺跡で試掘調査をしたことを評価します。町内の寺社等での盗難被害に対して、管理者への注意喚起、巡視をしたこと、警察に協力したことに対し、これからも継続を希望します。民族芸能を継承保存する団体に対し、交付金の支援をすることは必要不可欠なことと思います。

#### 2 文化財の保存・公開施設の管理運営

郷土人形館の燻蒸、歴史民俗資料館前の舗装の改修工事を実施できたことを評価します。紫雲閣での楽器の演奏や書画の展示など継続したこと、写真展や美術展を開催するにあたり、伝承館を貸し出しをしたことを大いに評価します。しかし、文化財に登録されたのは、伝承館と紫雲閣ですが、入場料が紫雲閣だけのため、入館にすることに迷いが生じます。今後、スムーズな改革を期待します。

### 3 展示公開・各種講座・広報活動の充実

明治初期の三春絵図を購入し、秋季特別展として公開し、さらにデジタル化して公開したことを大いに評価します。館蔵のビデオテープをデジタル化、民俗芸能を撮影し、資料館のホームページを更新してデジタルミュージアムを推進したことを大いに評価します。展示の解説や講師派遣を、これからも大いに継続して、町民に歴史を啓蒙していただければと思います。

## 町民図書館

### 令和6年度重点施策の実施評価

#### 1 図書館活用推進

利用者の読書意欲を促進する取組として、レファレンスサービスを行っていることは、社会の必要性に合わせていることを評価します。図書館受付の司書の対応も、迅速で安心できることを大いに評価します。

#### 2 利用者サイドに立った図書館運営

インターネットを活用することで、広域圏の蔵書図書資料などが利用できるようになったことや図書の予約もできることを大いに評価します。館内に座るスペースがあり、入れ替わりをしながら腰かけて本を読んでいる人がいます。誰もが気軽に立ち寄れる図書館であることに感謝します。

#### 3 各地域へのサービス

三春町内に本屋がなくなってしまったことで、図書館のサービスはなくてはならないものになっていると思います。高齢社会になっている現在、ますます期待されるのではないかと思います。

#### 4 学校との連携・学習支援

図書館ボランティアの会や生涯学習支援ボランティアの会の協力体制で、出前おはなし会による読み聞かせ活動や書か整理などの活動を行うことで図書館運営がスムーズに実施していることを大いに評価します。幅広い年齢層を対象にした活動をしていることで、本好きな人口が増えてくるのではと期待します。

## 児童生活センター

### 令和6年度重点施策の実施評価

#### 1 放課後子ども総合プラン推進事業に関する取組

##### (1) 児童クラブ運営事業

放課後に留守家庭になる児童が過ごす居場所として、放課後児童クラブが3カ所あることを評価します。活動についても、子どもの安全・安心の管理において、様々工夫をしていること、バラエティーに富んだ楽しそうな活動を行っていることを大いに評価します。増加傾向にある留守家庭児童のことを考え、指導員を対象に

資格取得者の研修や勉強会などを設けていることを大いに評価します。

## (2) まほらっこ教室運営事業

児童クラブのない地区では、「まほらっこ教室」があり全小学校区児童の安全・安心になっていることを大いに評価します。またクラブのない地域では、延長・長期休業中教室を実施したことで、異学年交流ができたことを評価します。

## (3) 次年度運営に向けた取組

岩江児童クラブの運営場所を、岩江センターから旧岩江幼稚園に移動するため設計委託を行い関係課との打ち合わせをしたり、職員体制や備品など検討したりと様々なことで、これからが大変なことと思いますが、利用する児童が、居心地良く過ごせる場所になることを期待しています。

## まとめ

夏休みの夜、まほらのホワイエで地域の方たちが、お盆の太鼓の練習をしていました。小・中学生に、地域の祭りの太鼓名人たちが、太鼓のばちの持ち方・たたき方・ポーズの取り方を一生懸命教えていました。太鼓の音は、もうすぐお盆と告げていました。消えてしまいそうな「人は人によって育てられる」の言葉がそこにありました。お盆の季節が伝わっていくのを実感しました。

中学生の部活動が、学校ではなく地域の方が行う地域移行に転換しています。教師の働き方改革の目的もありますが、地域の先輩の大人達とふれ合うチャンスでもあります。ぜひ多くの生徒が、いろいろな気づきを感じながら、町の宝物を身につけることができるよう願っています。

外部評価者